

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-322654
(P2000-322654A)

(43) 公開日 平成12年11月24日 (2000. 11. 24)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テマコード* (参考)

G 0 7 G 1/06

G 0 7 G 1/06

D 3 E 0 4 2

G 0 6 F 17/60

1/12

3 2 1 R 5 B 0 4 9

G 0 7 G 1/12

3 2 1

3 6 1 Z

3 6 1

G 0 6 F 15/21

Z

3 1 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数22 O L (全 18 頁)

(21) 出願番号 特願2000-59227 (P2000-59227)

(22) 出願日 平成12年3月3日 (2000. 3. 3)

(31) 優先権主張番号 特願平11-63532

(32) 優先日 平成11年3月10日 (1999. 3. 10)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000002369

セイコーエプソン株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

(72) 発明者 柳沢 昇

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコ

ーエプソン株式会社内

(72) 発明者 箕輪 政寛

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコ

ーエプソン株式会社内

(74) 代理人 100093388

弁理士 鈴木 喜三郎 (外2名)

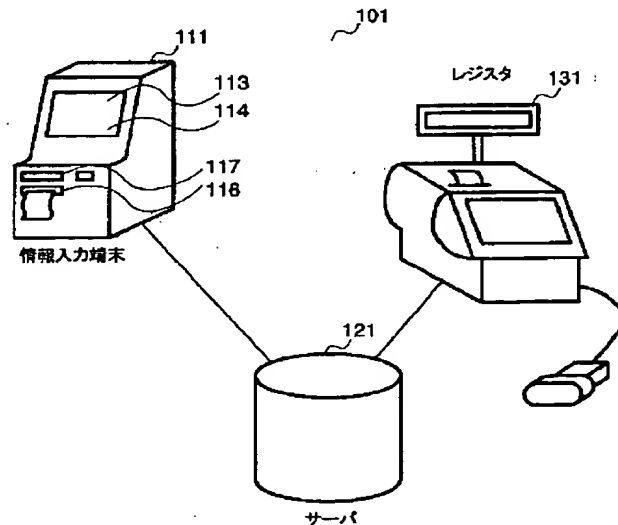
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 POSシステム、広告掲載の課金方法およびコンピュータが読み取り可能なプログラムを記録した情報記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 POSシステム、広告掲載の課金方法および情報記録媒体を提供する。

【解決手段】 POSシステムの掲載情報入力制御手段は、広告の掲載情報の入力を受け付け、課金額計算手段は、入力制御手段が入力を受け付けた掲載情報に基いて課金額を計算し、入金確認手段は、課金額計算手段が計算した課金額の入金を確認し、掲載情報記憶制御手段は、入金を確認した場合、掲載情報入力制御手段が入力を受け付けた掲載情報を随時読み出し可能に記憶装置に格納し、会計情報入力制御手段は、顧客の会計情報の入力を受け付け、掲載情報取得手段は、記憶装置に記憶された掲載情報を記憶装置から取得し、印刷データ生成手段は、会計情報入力制御手段が入力を受け付けた会計情報と掲載情報取得手段が取得した掲載情報とを合成して印刷データを生成し、これを印刷装置に出力してレシートとして印刷する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力装置、印刷装置、表示装置、記憶装置を有するPOSシステムであって、以下の手段を備えることを特徴とする。

(a) 広告の掲載情報および付加情報の入力を受け付け一時的に記憶させる掲載情報入力制御手段と、

(b) 前記掲載情報入力制御手段が入力を受け付けた掲載情報に基いて課金額を計算する課金額計算手段と、

(d) 前記入力制御手段課金額の入金が完了したか否かを検知する入金確認手段と、

(e) 前記広告掲載情報を読み出し可能な情報として前記記憶装置に記憶させる掲載情報記憶制御手段と、

(f) 前記掲載情報を印刷装置に送信する掲載情報送信手段。

【請求項2】 さらに

(g) 画像情報を入力する装置として、画像を読み取る画像入力装置と、画像入力制御手段とを備え、前記掲載情報入力制御手段は、前記画像読取手段が読み取った画像の一部または全部の情報を掲載情報として入力を受け付けることを特徴とする請求項1記載のPOSシステム。

【請求項3】 さらに、

(h) 前記掲載情報を掲載するサイズを指定するためのサイズ入力制御手段を有し、前記指定されたサイズに応じて、課金額を決定し、表示することを特徴とする請求項1または2記載のPOSシステム。

【請求項4】 請求項1または2に記載のPOSシステムにおいて、画像情報を入力する装置として、ディスクドライブ装置を備え、画像情報をイメージファイルで入力可能に構成したことを特徴とするPOSシステム。

【請求項5】 前記ディスクドライブ装置がフロッピードライブ装置であることを特徴とする請求項4記載のPOSシステム。

【請求項6】 前記印刷装置は、2色以上印刷が可能なカラープリンタであって、前記掲載情報入力制御手段によって入力された掲載情報の画像データが、2色又は多色の印刷を指定している時、これに対応して印刷出力が可能な請求項1から5のいずれか1項に記載のPOSシステム。

【請求項7】 以下の手段をさらに備えることを特徴とする請求項1または2記載のPOSシステム。

(j) 顧客の会計情報の入力を受け付ける会計情報入力制御手段と、

(k) 前記記憶装置に記憶された掲載情報を前記記憶装置から取得する掲載情報取得手段と、

(h) 前記会計情報入力制御手段が入力を受け付けた会計情報と前記掲載情報取得手段が取得した掲載情報とを合成して、レシートとして印刷する印刷データを生成す

る印刷データ生成手段と、

(i) 生成された印刷データを所定のフォーマットで印刷する印刷制御手段。

【請求項8】 前記印刷データ生成手段は、前記指定されたサイズに基づいて、前記印刷データを生成することを特徴とする請求項7に記載のPOSシステム。

【請求項9】 前記会計情報入力制御手段は、当該顧客の情報の入力を受け付け、

前記掲載情報取得手段は、前記会計情報入力制御手段が入力を受け付けた当該顧客の情報に基いて前記記憶装置に記憶された複数の掲載情報のアイテムからいずれかを選択して取得することを特徴とする請求項5記載のPOSシステム。

【請求項10】 前記会計情報入力制御手段が入力を受け付ける顧客の情報は、当該顧客の年齢層と性別のいずれか一方もしくは双方の情報を含むことを特徴とする請求項9記載のPOSシステム。

【請求項11】 以下のステップを備えることを特徴とする広告掲載の課金方法。

(a) 広告の掲載情報の入力を受け付ける掲載情報入力受付ステップと、

(b) 前記入力受付ステップにおいて入力を受け付けられた掲載情報に基いて課金額を計算する課金額計算ステップと、

(c) 前記課金額計算ステップにおいて計算された課金額の入金が完了したかどうかを確認する入金確認ステップと、

(d) 前記入力受付ステップにおいて入力を受け付けられた掲載情報を記憶する記憶ステップ。

【請求項12】 前記広告の掲載情報の入力を受け付ける掲載情報入力受付ステップは、画像情報を受け付ける画像情報入力受付ステップを含むことを特徴とする請求項11記載の課金方法。

【請求項13】 以下のステップをさらに備えることを特徴とする請求項11または12記載の課金方法。

(f) 顧客の会計情報の入力を受け付ける会計情報入力受付ステップと、

(g) 前記記憶ステップにおいて記憶された掲載情報を取得する掲載情報取得ステップと、

(h) 前記会計情報入力受付ステップにおいて入力を受け付けられた会計情報と前記掲載情報取得ステップにおいて取得された掲載情報とを合成して、レシートとして印刷するための印刷データを生成するステップと、

(i) 前記印刷データを印刷する印刷ステップ。

【請求項14】 前記会計情報入力受付ステップは、当該顧客の情報の入力をも受け付け、前記掲載情報取得ステップは、前記会計情報入力受付ステップにおいて入力を受け付けられた当該顧客の情報に基いて前記記憶ステップにおいて記憶された掲載情報からいずれかを選択して取得することを特徴とする請求項

13記載の課金方法。

【請求項15】 以下のステップを備えることを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムを記録した情報記録媒体。

(a) 広告の掲載情報の入力を受け付ける掲載情報入力受付ステップと、

(b) 前記入力受付ステップにおいて入力を受け付けられた掲載情報に基いて課金額を計算する課金額計算ステップと、

(c) 前記課金額計算ステップにおいて計算された課金額の入金が完了したかどうか確認する課金額入金確認ステップと、

(d) 前記入力受付ステップにおいて入力を受け付けられた掲載情報を随時読み出し可能に記憶する記憶ステップ。

【請求項16】 入力端末から広告情報の入力を受け付ける工程と、

前記広告情報をサーバーに送信する工程と、

IDを含む仮登録を印刷する工程と、

前記IDを前記仮登録から読み取る工程と、

前記IDを前記サーバーにて確認する工程と、

課金料金を計算する工程と、

前記計算した課金料金を表示する工程と、

課金入金を確認する工程と、

本登録をサーバーに行う工程とを含んでなる課金方法。

【請求項17】 顧客データの入力を受け付ける工程と、

サーバーに前記顧客データを送信する工程と、

前記サーバーにて特定の顧客の情報を検索する工程と、

前記サーバーから印刷すべき情報を受け取る工程と、

前記印刷すべき情報をレシートに印刷する工程と、を含んでなる広告方法。

【請求項18】 前記掲載情報入力制御手段は、前記付加情報として広告期間に関する情報の入力を受け付けることを特徴とする請求項1もしくは2のいずれか1項に記載のPOSシステム。

【請求項19】 前記掲載情報入力制御手段は、前記付加情報として広告対象者の性別、年齢層、等の種別に関する情報の入力を受け付けることを特徴とする請求項

1、2もしくは18のいずれか1項に記載のPOSシステム。

【請求項20】 前記掲載情報入力制御手段は、前記付加情報として広告掲載情報を印刷出力するサイズに関する情報を受け付けることを特徴とする請求項1、2、18、もしくは19のいずれか1項に記載のPOSシステム。

【請求項21】 前記課金額計算手段は、前記広告期間、広告対象者の種別、印刷出力するサイズのいずれか1項もしくはそれらの組み合わせに基づいて課金額を計算することを特徴とする請求項20に記載のPOSシ

テム。

【請求項22】 前記印刷出力するサイズに関する情報を受け付けた後、前記表示装置に広告掲載時に印刷出力されるものと同等の画像を出力することを特徴とする請求項20に記載のPOSシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、POSシステム、広告掲載の課金方法および広告方法に関する。特に、広告を行いたい顧客に対して広告の掲載情報に応じて課金を行い、顧客が課金額を支払った場合に、別の顧客に対するレシートに掲載情報を広告として印刷するPOSシステム、広告掲載の課金方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来から、コンビニエンスストアやスーパーマーケットにおいて、顧客の会計情報をレシートとして印刷するためのPOS (Point Of Sale) システムが普及している。このようなPOSシステムでは、オペレータがハンドスキャナなどのバーコードリーダを用いて商品に貼付された商品ラベルのバーコードを読み取る。読み取ったバーコードに含まれる商品の識別情報に基いて別途記憶装置に記憶された商品の値段を取得し会計計算を行う。最後に、会計計算情報をレシートとして印刷する。またこの際に、オペレータが顧客の年齢や性別、職業などの情報を入力することにより、流行等を把握し、商品の仕入計画に役立てている。

【0003】一方、コンビニエンスストア等では、コンサートなどのチケット、コンパクトディスクなどの商品の予約や注文を行うため、タッチパネルが付いた液晶画面により顧客が情報を入力する情報入力端末も普及している。顧客は、情報入力端末から所望の商品やチケットを選択し、情報入力端末が印刷する控えを受け取る。この控えにはバーコードが印刷されており、POSシステムで当該バーコードを読み取ることによって、商品やチケットの会計処理を行っている。

【0004】このほか、コンビニエンスストア等では、商品の仕入計画を立てるため、その地域で開催される運動会、バザーなどの各種イベントの情報を独自に入手している。

【0005】また、日刊工業新聞平成11年(1999年)1月26日号第39面に報道された通り、インターネットやさまざまな商用情報提供サービスから得られる情報を顧客の好みに合わせてレシートに印刷するPOSシステムも提案されている。このようなシステムでは、情報は無料で提供されるか、あるいは、提供を受ける顧客が情報取得料金を支払う形態をとっている。

【0006】また、このような情報をキャッシュレジスタに備えられたカスタマイズディスプレイに表示するPOSシステムも提案されている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このようなPOSシステムを利用して広告を行いたい場合には、インターネットやさまざまな商用情報提供サービスに複雑な手順を踏んで広告を出す旨の登録を行わなければならなかった。このため、たとえば地域住民が特定の地域に対して広告をしたい場合などには、従来のPOSシステムでは適切に対応することができなかった。そして、レシートに印刷される情報は天気予報や今日のニュースなどの画一的な情報だけになり、地域住民の主体的な情報交換には役立っていなかった。

【0008】一方、地域住民が主催する各種イベント情報などを、現在普及しているシステムを利用し、地域住民が主体的に参加して広めたいという要望が大きい。

【0009】また、コンビニエンスストア等は広く地域住民に利用される場の一つであり、情報提供の場としてコンビニエンスストア等を利用したいという要望も大きい。

【0010】また、このような各種イベント情報が地域住民によりコンビニエンスストア等に提供されれば、商品の仕入計画などにも役立つ。

【0011】さらに、公共性の高い学校行事などは広告掲載料を無料とし、家庭教師や講習会などの営利目的がある場合には広告掲載料を有料とするなど、広告の種類によって課金額を変更できるようなシステムが望まれている。

【0012】本発明は、以上のような問題を解決するためになされたもので、広告を行いたい顧客に対して広告の掲載情報に応じて課金を行い、顧客が課金額を支払った場合に、別の顧客のレシートに掲載情報を広告として印刷するPOSシステム、広告掲載の課金方法および情報記録媒体を提供することを目的とする。

【0013】

【課題を解決するための手段】以上の目的を達成するため、本発明の原理にしたがって、下記の発明を開示する。

【0014】本発明のPOSシステムは、掲載情報入力制御手段と、課金額計算手段と、課金入金確認手段と、掲載情報記憶制御手段とを備え、掲載情報入力制御手段は、広告の掲載情報の入力を受け付け、課金額計算手段は、入力制御手段が入力を受け付けた掲載情報に基いて課金額を計算し、課金入金確認手段は、課金額計算手段が計算した課金額の入金を確認し、掲載情報記憶制御手段は、入力制御手段課金額の入金が確認された場合、入力制御手段が入力を受け付けた掲載情報を随時読み出し可能に記憶する。

【0015】また、本発明のPOSシステムは、画像入力制御手段を、さらに備え、掲載情報入力制御手段は、入力された画像情報を掲載情報の一部または全部として入力を受け付けることができる。

【0016】また、本発明のPOSシステムは、会計情

報入力制御手段と、掲載情報取得手段と、印刷データ生成手段とをさらに備え、会計情報入力制御手段は、顧客の会計情報の入力を受け付け、掲載情報取得手段は、記憶された掲載情報を記憶装置から取得し、印刷データ生成手段は、会計情報入力制御手段が入力を受け付けた会計情報と掲載情報取得手段が取得した掲載情報とを合成して、印刷データを生成し、この印刷データを印刷装置に送信し、印刷装置によりレシートとして印刷することができる。

10 【0017】また、本発明のPOSシステムの会計情報入力制御手段は、当該顧客の情報の入力をも受け付け、掲載情報取得手段は、会計情報入力制御手段が入力を受け付けた当該顧客の情報に基いて記憶装置に記憶された掲載情報からいずれかを選択して取得することができる。

【0018】また、本発明のPOSシステムの会計情報入力制御手段が入力を受け付ける顧客の情報は、当該顧客の年齢層と性別のいずれか一方もしくは双方の情報を含むことができる。

20 【0019】本発明の広告掲載の課金方法は、以下のステップを備える。広告の掲載情報の入力を受け付ける掲載情報入力受付ステップと、入力受付ステップにおいて入力が受け付けられた掲載情報に基いて課金額を計算する課金額計算ステップと、課金額計算ステップにおいて計算された課金額の入金がなされたか確認する課金額入金確認ステップと、課金入金確認ステップにおいて課金額の入金が確認された場合、入力受付ステップにおいて入力が受け付けられた掲載情報を随時読み出し可能に記憶する記憶ステップ。

30 【0020】また、本発明の課金方法は、画像情報の入力を受付ける画像情報入力受付ステップを、さらに備え、掲載情報入力受付ステップは、入力された画像情報の一部または全部を掲載情報として受け付けることができる。

【0021】また、本発明の課金方法は、以下のステップをさらに備えることができる。顧客の会計情報の入力を受け付ける会計情報入力受付ステップと、記憶ステップにおいて記憶された掲載情報を取得する掲載情報取得ステップと、会計情報入力受付ステップにおいて入力が受け付けられた会計情報と掲載情報取得ステップにおいて取得された掲載情報とを合成して印刷データを生成するステップと、印刷データを所定のフォーマットで、レシートとして印刷する印刷制御ステップ。

【0022】また、本発明の課金方法の会計情報入力受付ステップは、当該顧客の情報の入力をも受け付け、掲載情報取得ステップは、会計情報入力受付ステップにおいて入力が受け付けられた当該顧客の情報に基いて記憶ステップにおいて記憶された掲載情報からいずれかを選択して取得することができる。

50 【0023】本発明のPOSシステムの掲載情報入力制

御手段は、付加情報として広告期間に関する情報の入力を受け付けることができる。

【0024】本発明のPOSシステムの掲載情報入力制御手段は、付加情報として広告対象者の性別、年齢層、等の種別に関する情報の入力を受け付けることができる。

【0025】本発明のPOSシステムの掲載情報入力制御手段は、付加情報として広告掲載情報を印刷出力するサイズに関する情報を受け付けることができる。

【0026】本発明のPOSシステムの課金額計算手段は、広告期間、広告対象者の種別、印刷出力するサイズのいずれか1項もしくはそれらの組み合わせに基づいて課金額を計算することができる。

【0027】本発明のPOSシステムは、印刷出力するサイズに関する情報を受け付けた後、表示装置に広告掲載時に印刷出力されるものと同等の画像を出力することができる。

【0028】本発明のPOSシステムを実現し、本発明の広告掲載の課金方法を実現するためのプログラムをコンパクトディスク、フロッピーディスク、ハードディスク、光磁気ディスク、デジタルビデオディスク、磁気テープ、半導体メモリなどのコンピュータが読みとり可能な情報記録媒体に記憶することができる。

【0029】さらに、本発明のPOSシステムを制御するためのプログラムを、WWW (World Wide Web) のサーバコンピュータに配置し、ここからオペレータが適宜ダウンロードしてPOSシステムに記憶させてプログラムを更新し、POSシステムにこのプログラムを実行させることができる。

【0030】

【発明の実施の形態】以下に本発明の一実施形態を説明する。なお、以下に説明する実施形態は説明のためのものであり、本発明の範囲を制限するものではない。したがって、当業者であればこれらの各要素もしくは全要素をこれと均等なものに置換した実施形態を採用することが可能であり、これらの実施形態も本発明の範囲に含まれる。

【0031】(POSシステムの全体構成) 図1に、本発明のPOSシステムの一実施形態のブロック構成図を示す。

【0032】POSシステム101は、情報入力端末111と、サーバ121と、キャッシュレジスタ131とを備える。キャッシュレジスタ131は、入力装置として、キーボード、バーコードリーダ、表示装置として、液晶ディスプレイ、カスタマーディスプレイ、印刷装置として、レシートプリンタ等を有し、情報入力端末111は、表示装置として、液晶ディスプレイ113、入力装置として、タッチパネル114、フロッピードライブ117、イメージスキャナ(図示せず)、印刷装置として、プリンタ116を有している。プリンタ116

は、多色の印刷が可能なインクジェットプリンタが用いられる。

【0033】情報を提供する顧客(広告主となる顧客)は、情報入力端末111からレシートに印刷して欲しい掲載情報を入力する。その際に、レシートを受け取る人(広告を受ける顧客)の性別、年齢層、職業などの種別を広告対象条件(特定条件)として選択して入力することができる。

【0034】サーバ121は、情報入力端末111から入力された掲載情報と、この掲載情報に対応する特定条件とを記憶する。また、商品データベースを用意して各種商品の価格の検索や在庫管理などの機能を果たすこともできる。

【0035】キャッシュレジスタ131では、広告を受ける顧客が購入する商品の会計情報の入力が行われる。オペレータは広告を受ける顧客の年齢層、性別、職業などの情報をキャッシュレジスタ131で入力するとともに、商品に添付されたバーコードをバーコードリーダ131bで読み取り、商品の個数をキーボードなどから入力する。

【0036】キャッシュレジスタ131では、バーコードリーダ131bで読み取られた商品の識別情報や個数などの会計情報に基いて、会計計算が行われる。会計計算は、キャッシュレジスタ131で行うこともできるし、サーバ121で行うこともできる。また、商品の識別情報から当該商品の価格を調べるために、サーバ121に記憶された商品データベースを利用することができる。

【0037】このように、本発明では、情報入力端末111を用いて地域住民(広告主となる顧客)の主体的な掲載情報の提供を受けることができ、掲載情報を特定条件に合わせて顧客(広告を受ける顧客)のレシートに印刷して提示することができるため、地域社会の情報交換に役立つことができる。

【0038】(情報入力端末の構成) 図2には、図1に示すPOSシステムの情報入力端末111のブロック構成図を示す。

【0039】情報入力端末111の各部は、CPU 112によって制御される。液晶ディスプレイ113には情報入力用のボタンや五十音表などが表示され、広告主となる顧客は液晶ディスプレイ113の表面に設けられたタッチパネル114に触れることにより、表示されたボタンや五十音表から所望のものを選択し、掲載情報を入力することができる。又、手書き文字認識領域をタッチパネル上に設置し、これを認識する文字認識プログラムを情報入力端末に組み込むことによって直接、ひらがな、あるいは漢字を入力する事も可能である。

【0040】また、ここで表示されるボタンに、あらかじめどのような客層に掲載情報を提供したいかの特定条件(年齢層、性別、職業など)、掲載情報の種類(運動

会、バザー、発表会など）、掲載情報の有効期限（開催日など）を入力できるように用意しておくことができる。これにより、広告主となる顧客による入力が入力可能になるとともに、コンビニエンスストアの商品仕入情報にこれらの情報を生かすこともできる。

【0041】また情報入力端末111には、イメージスキャナ115が備えられている。広告主となる顧客は、レシートに印刷したい図案等をあらかじめ用意し、これをスキャナ115で読み取って掲載情報とすることができる。更に、情報入力端末111には、フロッピードライブ117が備えられ、情報掲載希望者が自宅で作成したイメージファイル（たとえばJPEG、GIF、TIFF形式のファイル）をイメージデータとして読み込むことができるように構成されている。又、プリンタ116では、広告しようとして入力された掲載情報を確認のために印刷出力することができるように構成されている。

【0042】また、情報入力端末111では、掲載情報の入力だけではなく、コンサートのチケットやコンパクトディスクなどの商品の予約や注文を行うことができる。顧客は、ディスプレイ113の表示にしたがい、タッチパネル114を操作して、所望の商品を選択する。選択が完了すると、プリンタ116がレシートを印刷する。

【0043】顧客は、プリンタ116が印刷した控えをキャッシュレジスタ131に持っていき、オペレータは、この控えに印刷されたバーコードを読み取ることにより、コンサートのチケットやコンパクトディスクなどの商品の会計を行うことができる。

【0044】入力された掲載情報や商品情報は、インターフェース118を介してサーバに送信される。

【0045】ここで、情報入力端末111は掲載情報入力制御手段として機能し、又、情報入力端末111に備えられたスキャナ115、あるいはフロッピードライブ117と共に、画像入力制御手段として機能する。

【0046】（サーバの構成）図3には、図1に示すPOSシステムのサーバ121のブロック構成図を示す。

【0047】サーバ121の各部は、CPU 122によって制御される。サーバ121は、入力端末側インターフェース123を介して情報入力端末111と通信し、キャッシュレジスタ側インターフェース124を介してキャッシュレジスタ131と通信する。

【0048】サーバ121は、情報入力端末111で入力された掲載情報と特定条件を入力端末側インターフェース123を介して受信し、これらをハードディスク、DVD、MTなどの不揮発性記憶装置125に記憶する。

【0049】不揮発性記憶装置125には、商品データベースを記憶することもできる。この場合、CPU 122は、キャッシュレジスタ131から送信された商品の識別番号（ID）をキャッシュレジスタ側インター

フェース124を介して受信し、その商品の価格をキャッシュレジスタ側インターフェース124を介してキャッシュレジスタ131に送信する。

【0050】サーバ121は、ネットワークインターフェース126を介して電話線などを用いたコンピュータ通信網に接続することができ、商品の販売状況を本部に連絡し、仕入計画、商品価格の更新情報のほか、顧客に依らない掲載情報を得ることができる。

【0051】また、入力された掲載情報を調べ、当該地域で開催される各種イベントの種類や日程をコンピュータ通信網を介して本部に送信することにより、当該店舗に対する商品の納入計画を適切なものに変更することができる。

【0052】ここで、サーバ121はPOSシステムの中央制御装置として機能する。

【0053】（キャッシュレジスタの構成）図4には、図1に示すPOSシステムのキャッシュレジスタ131のブロック構成図を示す。

【0054】キャッシュレジスタ131の各部はCPU 132によって制御される。オペレータはハンドスキャナなどのバーコードリーダ133や、キーボード134を用いて商品に付されたバーコードを読み取り、あるいは商品識別情報を入力する。また、キーボード134を用いて、現在会計を行っている顧客の年齢層、性別、職業などの情報を入力する。

【0055】入力された商品識別情報から商品の値段を検索して、会計情報としてこれを用いる。検索の際には、サーバ121に記憶された商品データベースを用いることができる。キャッシュレジスタ131はインターフェース135を介してサーバ121と通信する。

【0056】キャッシュレジスタ131は、バーコードを読み取った商品の名称やその商品の値段、会計の合計金額などをカスタマディスプレイ136に表示する。これにより、顧客の確認を促すことができる。

【0057】このほか、キャッシュレジスタ131は、銭箱137や、クレジットカード、プリペイドカード用のカード読取装置138を備えることができる。これにより会計を実行することができる。

【0058】商品の名称、値段、個数、合計額、釣銭の金額などの会計情報は、プリンタ139によりレシートとして印刷される。プリンタ139は、多色印刷が可能で高速のインクジェットプリンタが用いられる。

【0059】ここで、キーボード134により入力された広告を受ける顧客の年齢層、性別、職業などの情報は、インターフェース135を介してサーバ121に送信される。

【0060】サーバ121のCPU 122（図2）は、受信した広告を受ける顧客の年齢層、性別、職業などの情報と、不揮発性記憶装置125に記憶された特定条件とを対比し、特定条件のうち、満たされるものを選

択する。さらに、満たされた特定条件に対応する掲載情報を不揮発性記憶装置125から取得し、この掲載情報をキャッシュレジスタ131に送信する。複数の特定条件が満たされる場合には、いずれか一つの掲載情報を選択する。

【0061】キャッシュレジスタ131では、受信した掲載情報を、会計情報と合成して1枚のレシートに印刷する。

【0062】ここで、キャッシュレジスタ131は会計情報入力制御手段、印刷制御手段として機能し、サーバ121と共働して掲載情報取得手段として機能する。また印刷手段として機能する際に、サーバ121が記憶する商品データベースを利用して会計情報を合成することができる。

【0063】(掲載情報の仮登録処理)図5は、本発明のPOSシステムの機能ブロック図である。

【0064】掲載情報入力制御手段201は、テキストデータを入力する入力装置114からの入力を受け付け、情報入力端末内の所定のメモリに入力し、一時的に保存する制御を実行する。又、この制御手段には、掲載情報の印刷出力の大きさを指定するためのサイズ入力制御手段202が接続されている。一方、イメージを入力するための入力装置であるイメージスキャナ115には、画像入力制御手段203が接続され、同様にサイズ入力制御手段202に接続されている。入力された広告掲載情報は、HTML形式などのファイルとして一時的に情報入力端末内の記憶装置に保存される。尚、サイズ入力制御手段202、イメージ入力制御手段203は、掲載情報入力手段201に含めて構成し、掲載情報制御手段201が掲載情報および付加情報を入力制御するように構成する事も可能である。

【0065】課金額計算手段204は、入力された掲載情報の印刷出力サイズ情報、あるいは掲載期間、出力対象者などの付加情報に基づいて掲載のための料金を計算する。この時、情報入力端末装置に備えられたプリンタに、登録番号、請求金額、あるいはこれらをバーコードに変換したコードパターンなどをチケット状の用紙に印刷出力し、登録カードを作成する。更に、テスト印刷を指定するボタンがタッチパネル上に表示されこれをONすることによって、テスト印刷制御手段210を作動させ、広告掲載情報が所望の形態で印刷出力されるか確認することができる様に構成することもできる。

【0066】ここで、情報入力作業は終了するため、広告掲載情報と、これに付随する掲載者情報、対象者情報は一旦、サーバ内の記憶装置に仮登録される。

【0067】広告掲載希望者は、この登録カードをキャッシュレジスタに持参することによって、キャッシュレジスタでは、登録カードの情報をバーコードリーダで読み込み、料金が支払われると課金額入金確認が実行される。すなわちキャッシュレジスタは、課金額入金(支

払)確認手段205として機能する。これに接続された、掲載情報記憶制御手段206は、この入金情報を受信し、一時的に保存されている掲載情報のファイルを、不揮発性記憶装置125に、随時読み出し可能に正式に登録する。

【0068】一方、通常の顧客が、商品を購入し、キャッシュレジスタで入金をしようとする、会計情報入力手段207により、商品の合計額を計算し、ディスプレイ136に表示し、顧客の入金が行われると、サーバ121の印刷データ生成手段208により、指定された広告掲載情報のファイルと、会計情報のデータを所定のフォーマットで合成し、印刷データを生成する。この時、印刷データ生成手段208は、会計情報入力時に入力された、顧客の年齢、性別などの付加情報を参照し、広告掲載情報を入力するときに指定された顧客かどうか比較し、広告掲載対象者と判定した場合、その広告掲載情報のファイルを、不揮発性記憶装置125から読み出し、合成データを生成する。

【0069】印刷データは、レシート印刷用のデータとして、キャッシュレジスタ131に送信され、印刷制御手段209によって、印刷装置139から印刷出力される。

【0070】図6は、図1に示すPOSシステムにおいて掲載情報が記憶装置に仮登録されるまでの処理の流れを示すフローチャートである。

【0071】まず、情報入力端末111のCPU112は、ディスプレイ113に、メインメニューを表示する(ステップS501)。図7に、このメインメニューの表示例を示す。

【0072】メインメニュー601には、レシートに印刷する掲載情報の入力ボタン602、コンサートチケットの予約・発行ボタン603、旅行の切符やホテルの予約・発行ボタン604、音楽用コンパクトディスクの予約・注文ボタン605、ゲームソフトの予約・注文ボタン606などが表示されている。

【0073】次に、CPU112は、タッチパネル113を監視して、広告主となる顧客がメインメニュー601に表示されたいずれのボタンを選択したかを調べる(ステップS502)。

【0074】掲載情報入力ボタン602以外のボタンが選択された場合(ステップS502;その他)、対応する処理を実行し(ステップS503)、ステップS501に戻る。ステップS503の処理については、公知の技術を用いることができるため、本発明では説明を省略する。

【0075】掲載情報入力ボタン602が選択された場合(ステップS502;掲載情報入力)、CPU112は、掲載情報の種類の入力メニューをディスプレイ113に表示し、掲載情報の種類の入力を受け付ける(ステップS504)。

10

20

30

40

50

【0076】図8に、掲載情報の種類の入力メニューの表示例を示す。

【0077】掲載情報の種類の入力メニュー701には、学校行事ボタン702、バザーボタン703、講習会ボタン704、その他ボタン705などが表示されている。広告主となる顧客が文化祭や運動会などの告知を行う場合には学校行事ボタン702を選択し、バザーやフリーマーケットなどの告知を行う場合にはバザーボタン703を選択し、生け花、英語、家庭教師などの告知を行う場合には講習会ボタン704を選択する。また、これらに該当しないイベントなどの告知を行いたい場合には、その他ボタン705を選択する。

【0078】ついで、CPU 112は、掲載情報の有効期限の入力メニューをディスプレイ113に表示し、掲載情報の有効期限の入力を受け付ける（ステップS505）。図9には、掲載情報の有効期限の入力メニューの表示例を示す。広告主となる顧客は、各種イベントの開催日などを入力することができる。

【0079】有効期限の入力メニュー801には、入力された年月日をそれぞれ表示する年入力部802、月入力部803、日入力部804と、現在入力している場所を示すカーソル805と、数字を入力するためのテンキー806とが表示されている。

【0080】さらに、CPU 112は、掲載情報の特定条件の入力メニューをディスプレイ113に表示し、掲載情報の特定条件の入力を受け付ける（ステップS506）。図10に、掲載情報の特定条件の入力メニューの表示例を示す。

【0081】特定条件の入力メニュー901には、情報を提供したい相手の性別入力ボタン902a、902bと、年齢層入力ボタン903a、903b、903c、903d、903e、903fと、職業入力ボタン904a、904b、904cとが表示されている。広告主となる顧客は、この中から所望の入力ボタンを選択することにより、特定条件を入力することができる。

【0082】ついで、CPU 112は、掲載情報の入力メニューをディスプレイ113に表示し、掲載情報の入力を受け付ける（ステップS507）。

【0083】図11には、掲載情報の入力メニューの表示例を示す。

【0084】掲載情報の入力メニュー1001は、入力された掲載情報を表示する入力部1002、現在入力している場所を示すカーソル1003と、自由に文章を入力するための五十音表1004とが表示されている。さらに、スキャナ115から画像を読み取って、これを掲載情報とするためのスキャナボタン1005も表示されている。広告主となる顧客は、五十音表1004やスキャナボタン1005を操作することにより、提供する情報を容易に入力することができる。

【0085】又、フォントサイズ指定のボタン1006

によって、好みのフォントサイズを指定することもできる。更に図示されていないが、フォントの種類、ボールド、イタリック等が、部分的あるいは、全体的に指定できる構成とすることも可能である。

【0086】さらに、CPU 112は、ステップS504～ステップS507で入力された情報を確認する確認メニューを表示して掲載情報の内容の確認を求める（ステップS508）。

【0087】図12に、確認メニューの表示例を示す。確認メニュー1101には、掲載情報の種類1102、有効期限1103、特定条件1104、掲載情報1105と、確認ボタン1106とが表示されている。

【0088】本実施例では、画像入力をイメージスキャナーを用いて行う方法で、説明しているが、家庭のPCで作成した画像ファイルをフロッピーディスクに記録して、この情報入力端末で読み出して、広告掲載情報のデータを作成することもできる。

【0089】入力をやり直す場合（ステップS508；No）、ステップS504に戻る。入力をやり直す場合は、前回入力した情報を各メニューの既定値として用いると再入力を容易に行うことができる。

【0090】また、これらの情報の入力手法については、ここに開示した手順のほか、適宜順序を変更するなどの公知の技術を用いることができ、これらの実施形態も本発明の範囲に含まれる。

【0091】確認がされた場合（ステップS508；Yes）、CPU 112は、仮登録の画面を表示し、最終登録の確認を求める。図13は、登録確認メニューの表示例を示している。登録確認メニューでは、プレビュー画面1151と、印刷サイズ、あるいは印刷カラーの指定をするボタン1152、料金確認の表示画面1153等が配置されるとともに、仮登録の最終画面が表示され、仮登録をするOKボタン1160、取り消し（Cancel）ボタン1161、修正（Revise）ボタン1162等が配置されている。プレビュー画面1151では、レシートに印刷される画像と同等の画像が、所定の処理によって表示される。

【0092】前述のボタンを用いて、サイズ、色の指定がされ（ステップS509）、掲載期間、サイズ等の指定情報に基づいて料金が計算され（ステップS510）、仮登録するかどうかを問い合わせる（ステップS511）。課金額は、たとえばその日から有効期限までの日数に所定の金額を掛け算することにより得ることができる。また、掲載情報の種類に応じて学校行事は100円、講習会の案内は200円などのように、所定の金額を変更することができる。更に、掲載者の年齢によっても変更しても良い。

【0093】ここで、仮登録のOKボタン1160を押されると（ステップS511：YES）インターフェース118を介して入力された掲載情報の種類、有効期

限、特定条件、掲載情報をサーバ121に送信する（ステップS509）。広告掲載情報、付加情報が関連づけられて、サーバ内の記憶装置125に一時的に保存される。又、キャンセルボタン1161を押すと全ての情報が消去される（ステップS511：NO）。更に修正が必要な場合は、コレクトボタン1162が押される。この場合、ステップS504に戻る。

【0094】サーバ121では、これらの情報を入力端末側インターフェース123を介して受信し（ステップS514）、不揮発性記憶装置125に識別番号とともに仮登録して記憶する（ステップS515）。そして、当該仮登録の識別番号を入力端末側インターフェース123を介して送信する（ステップS516）。

【0095】CPU 112は、インターフェース118を介して仮登録の識別番号を受信し（ステップS513）、情報入力端末のプリンタ116から、請求書兼登録カードが発行され（ステップS520）、本処理を終了する。

【0096】広告主となる顧客は、自分が指定したフォーマット、例えば、広告のサイズ、色、フォントの種類等をを確認することができるよう印刷出力する事も可能である。また登録カードには、仮登録の識別番号をあらわすバーコードが印刷される。

【0097】以下に説明する課金処理では、このバーコードを読み取って課金を行う。

【0098】（課金処理）図14は、図1に示すPOSシステムにおいて、課金額の入金確認を行うことにより、仮登録された掲載情報を本登録するの流れを示すフローチャートである。本処理は、広告主となる顧客がキャッシュレジスタ131のオペレータ（店員）にステップS520において出力された請求書兼登録カードを渡すことによって開始される。

【0099】まず、キャッシュレジスタ131のCPU 132は、仮登録の識別番号の入力をバーコードリーダ133から受け付ける（ステップS1201）。この入力、オペレータがバーコードリーダにより登録カードに印刷されたバーコードを読み取ることにより行う。

【0100】次に、CPU 132は、この仮登録の識別番号をインターフェース135を介してサーバ121に送信する（ステップS1202）。

【0101】サーバ121は、キャッシュレジスタ側インターフェース124を介して仮登録の識別番号を受信すると（ステップS1203）、不揮発性記憶装置125の仮登録により記憶された掲載情報の種類、有効期限、特定条件、掲載情報を、登録カードの内容と照合、確認する（ステップS1204）。確認処理が終了するとあらかじめ計算された課金額をキャッシュレジスタ131へ送信する（ステップS1205）。尚、課金額はあらかじめ登録カードにバーコードで出力し、これを用いることも可能である。

【0102】キャッシュレジスタ131は、インターフェース135を介して課金額を受信し（ステップS1207）、当該課金額をディスプレイ136に表示する（ステップS1208）。

【0103】ここで、オペレータは広告主となる顧客から課金額を徴収し、たとえばキーボード134の「精算」ボタンを押圧操作することにより、キャッシュレジスタ131がその旨を受け付ける（ステップS1209）。現金による徴収のほか、カード読取装置138を使用したクレジットカード、プリペイドカードによる徴収ができる。

【0104】さらに、課金額の入金が確認されると、CPU 132は、インターフェース135を介して、当該掲載情報を本登録するようにサーバに要求する（ステップS1210）。

【0105】サーバは、この要求を受信し（ステップS1211）、当該掲載情報を本登録し（ステップS1212）、キャッシュレジスタ側インターフェース126を介して本登録した旨をキャッシュレジスタ131に送信する（ステップS1213）。

【0106】キャッシュレジスタ131は、インターフェース135を介して本登録した旨を受信すると（ステップS1214）、広告主となる顧客に対して広告を受け付けた旨のレシートを印刷して（ステップS1215）、本処理を終了する。

【0107】（会計処理）図15は、図1に示すPOSシステムにおいて会計情報が入力され、これと掲載情報とがレシートに印刷されるまでの処理の流れを示すフローチャートである。

【0108】まず、キャッシュレジスタ131のCPU 132は、広告を受ける顧客の性別、年齢層、職業などの顧客情報の入力を、キーボード134から受け付ける（ステップS1301）。この入力、キャッシュレジスタ131のオペレータ（店員）が行う。

【0109】次に、CPU 132は、バーコードリーダ133とキーボード134により商品の識別情報と商品の個数の情報の入力を受け付け（ステップS1302）、この識別情報をインターフェース135を介してサーバ121に送信する（ステップS1303）。

【0110】サーバ121は、キャッシュレジスタ側インターフェース124を介して商品の識別情報を受信すると（ステップS1304）、不揮発性記憶装置125に記憶された商品データベースからその商品の価格を検索し（ステップS1305）、この価格情報をキャッシュレジスタ側インターフェース124を介してキャッシュレジスタ131に送信する（ステップS1306）。

【0111】キャッシュレジスタ131は、インターフェース135を介して商品の価格情報を受信し（ステップS1307）、価格情報をディスプレイ136に表示する（ステップS1308）。

【0112】さらに、商品の識別情報の入力が終わるか否かを調べる（ステップS1309）。たとえばキーボード134の「合計」ボタンをオペレータが押圧操作することにより、商品の識別情報の入力が終わることになる。

【0113】入力が終わりでない場合（ステップS1309；No）、ステップS1302に戻る。一方、商品の識別情報の入力が終わった場合（ステップS1309；Yes）、CPU 132は、ステップS1301において入力された顧客の性別、年齢層、職業などの顧客情報を、インターフェース135を介してサーバ121に送信する（ステップS1310）。

【0114】サーバ121は、キャッシュレジスタ側インターフェース124を介して、顧客の性別、年齢層、職業などの顧客情報を受信し（ステップS1311）、CPU 122は、不揮発性記憶装置125に本登録された特定条件とこれらの顧客情報を対比して、満たされる特定条件がいくつかを調べる（ステップS1312）。

【0115】なお、満たされる特定条件が複数ある場合には、乱数や採用された回数などに応じて適宜いずれかの特定条件を1つ選択することができる。

【0116】また、常に成立する特定条件と、これに対応する掲載情報として当該コンビニエンスストアの宣伝などをあらかじめ不揮発性記憶装置125に記憶しておくことができる。

【0117】ついで、CPU 122は、満たされる特定条件に対応する掲載情報を不揮発性記憶装置125から取得し（ステップS1313）、キャッシュレジスタ側インターフェース124を介して、この掲載情報をキャッシュレジスタ131に送信する（ステップS1314）。

【0118】キャッシュレジスタ131は、インターフェース135を介して、掲載情報を受信する（ステップS1315）。

【0119】ついで、キャッシュレジスタ131のCPU 132は、ステップS1302で受け付けた商品の個数と、ステップS1307で受信した商品の価格情報と、から、レシートに印刷すべき会計情報を生成する（ステップS1316）。

【0120】最後に、キャッシュレジスタ131は、ステップS1314において受信された掲載情報と、ステップS1315において生成された会計情報とを合成して印刷データを生成し（ステップS1317）、プリンタに送信し（ステップS1318）プリンタ139により、レシートとして印刷し（ステップS1319）、本処理を終了する。印刷のフォーマットとしては、レシートに掲載情報用の印刷領域を用意しておき、当該部分に掲載情報を嵌め込んで印刷したり、掲載情報を印刷した後で会計情報を印刷するなどの合成方法が考えられる。

又、複数の掲載情報のアイテムが登録されている場合は、特定条件に該当しない顧客に対しては、タイトルのみを印刷したりすることも可能である。

【0121】図16は、このようにして印刷されたレシートの例を示す説明図である。レシート1401には、掲載情報印刷領域1402と、会計情報印刷領域1403とがあり、それぞれの情報が印刷されている。

【0122】なお、上記の処理の手順は実施形態の一例を示したものであり、これを変形したり、順序を変更したりしてこれと同等の処理を実行することができる。たとえば、上記の説明では省略したが、釣銭の計算や、入力した情報の訂正などを適宜行うステップを本処理に追加することができる。

【0123】また、情報入力端末111とサーバ121とを一体として構成することも可能であるし、サーバ121とキャッシュレジスタ131とを一体として構成することも可能である。また、サーバ121で行う処理をキャッシュレジスタ131で行うことも、その逆も可能である。これらの実施形態も本発明の範囲に含まれる。

【0124】また、上記実施例では、課金額を、掲載情報と種類と有効期限と登録日との間の日数によって計算していたが、このほかの方法も考えられる。

【0125】たとえば、広告主が情報入力端末111で何枚のレシートに広告を印刷するかを入力できるようにしておき、レシート1枚あたりの料金にこの枚数を掛け算することにより課金額を求めることができる。この場合、広告が印刷された回数が入力したレシートの枚数よりも小さい場合に、特定条件が満たされることになる。

【0126】このほか、広告を掲載する期間をさらに詳細に設定できるような実施形態も考えられる。たとえば、「午前10時から午後2時までの間、今日から2週間」などのような指定である。この場合は、時間帯に応じて、予想される来客数が異なるため、広告料金を変更してもよい。

【0127】また、上記実施例では広告料金は先払いだが、クレジットカードなどを利用した場合には、実際に広告が印刷されたレシートの枚数に応じて後から課金することも可能である。この場合は、キャッシュレジスタからクレジットカードの会員番号を入力することにより、仮登録から本登録への更新が行われることになる。

【0128】また、上記実施例では、2色以上の多色印刷プリンタとして、インクジェットプリンタ116を用いたが、サーマルプリンタ、インパクトドットプリンタ、レーザープリンタでも構わない。もし、それらのプリンタが単色しか印刷できないときは、印刷カラーの指定（図13）は、無視される。

【0129】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、以下の効果を奏する。

【0130】まず、広告を行いたい顧客に対して広告の

掲載情報に応じて課金を行い、顧客が課金額を支払った場合に、別の顧客に対するレシートに掲載情報を広告として印刷するPOSシステムと広告掲載の課金方法を提供することができる。

【0131】また、掲載情報の提供が顧客にとって容易なPOSシステムと広告掲載の課金方法を提供することができる。

【0132】また、顧客の年齢層、性別、職業などに応じて、提供すべき掲載情報を適切に選択することができるPOSシステムと広告掲載の課金方法を提供すること
10

【0133】さらに、プログラムを記録した情報記録媒体をソフトウェア商品として、POSシステムのハードウェアと独立して容易に配布したり販売したりすることができるようになる。本発明の情報記録媒体に記録されたプログラムをPOSシステムで実行すれば、上記の発明に係るPOSシステムおよびPOSシステムの制御方法が実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のPOSシステムの一実施形態の概要を示すブロック構成図。
20

【図2】図1に示すPOSシステムの情報入力端末の構成を示すブロック構成図。

【図3】図1に示すPOSシステムのサーバの構成を示すブロック構成図。

【図4】図1に示すPOSシステムのキャッシュレジスタの構成を示すブロック構成図。

【図5】本発明のPOSシステムの機能ブロック図。

【図6】図1に示すPOSシステムの情報入力端末で実行される掲載情報仮登録処理の流れを示すフローチャート。
30

【図7】図1に示すPOSシステムの情報入力端末に表示される入力画面のメインメニューの表示例。

【図8】図1に示すPOSシステムの情報入力端末に表示される掲載情報の種類の入力メニューの表示例。

【図9】図1に示すPOSシステムの情報入力端末に表示される有効期限の入力メニューの表示例。

【図10】図1に示すPOSシステムの情報入力端末に表示される特定条件の入力メニューの表示例。

【図11】図1に示すPOSシステムの情報入力端末に表示される掲載情報の入力メニューの表示例。
40

【図12】図1に示すPOSシステムの情報入力端末に表示される確認メニューの表示例。

【図13】図1に示すPOSシステムの情報入力端末に表示される登録確認メニューの表示例。

【図14】図1に示すPOSシステムのキャッシュレジスタとサーバで実行される課金処理の流れを示すフローチャート。

【図15】図1に示すPOSシステムのキャッシュレジスタとサーバで実行される会計処理の流れを示すフロー
50

チャート。

【図16】図1に示すPOSシステムにおいて出力されるレシートの印刷例を示す説明図。

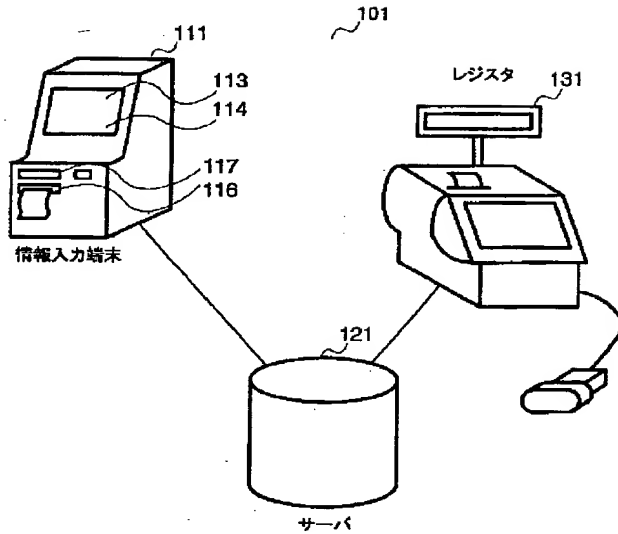
【符号の説明】

101	POSシステム
111	情報入力端末
112	CPU
113	ディスプレイ
114	タッチパネル
115	スキャナ
116	印刷機構
118	インターフェース
121	サーバ
122	CPU
123	入力端末側インターフェース
124	キャッシュレジスタ側インターフェース
125	不揮発性記憶装置
126	ネットワークインターフェース
131	キャッシュレジスタ
132	CPU
133	バーコードリーダ
134	キーボード
135	インターフェース
136	ディスプレイ
137	金箱
138	カード読取装置
139	印刷機構
601	メインメニュー
602	掲載情報入力ボタン
603	チケット予約発行ボタン
604	旅行予約発行ボタン
605	CD予約注文ボタン
606	ゲーム予約注文ボタン
701	種類入力メニュー
702	学校行事ボタン
703	バザーボタン
704	講習会ボタン
705	その他ボタン
801	有効期限入力メニュー
802	年入力部
803	月入力部
804	日入力部
805	カーソル
806	テンキー
901	特定条件入力メニュー
902	性別入力ボタン
903	年齢層入力ボタン
904	職業入力ボタン
1001	掲載情報入力メニュー
1002	入力部

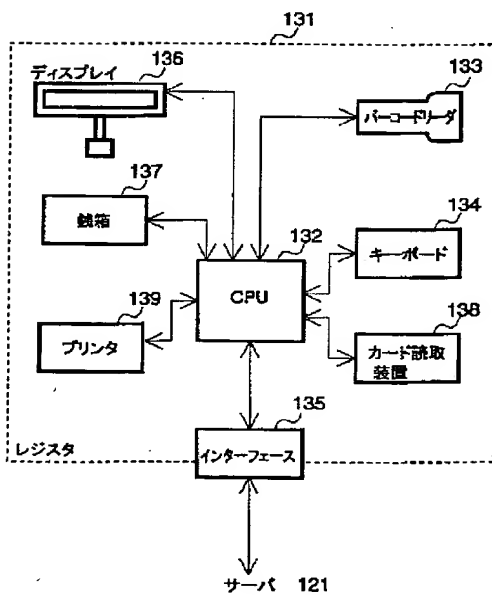
21

- 1003 カーソル
- 1004 五十音表
- 1005 スキャナボタン
- 1101 確認メニュー
- 1102 掲載情報の種類
- 1103 有効期限

【図1】



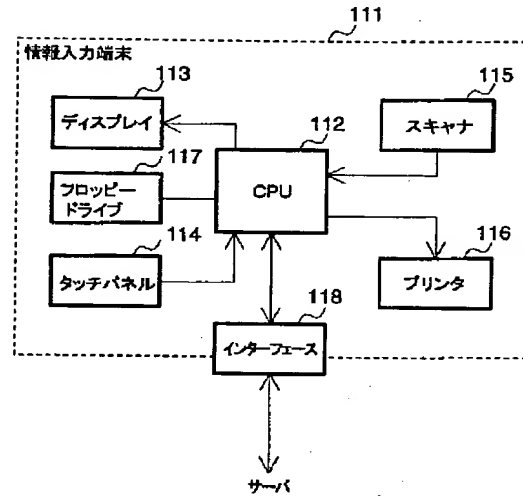
【図4】



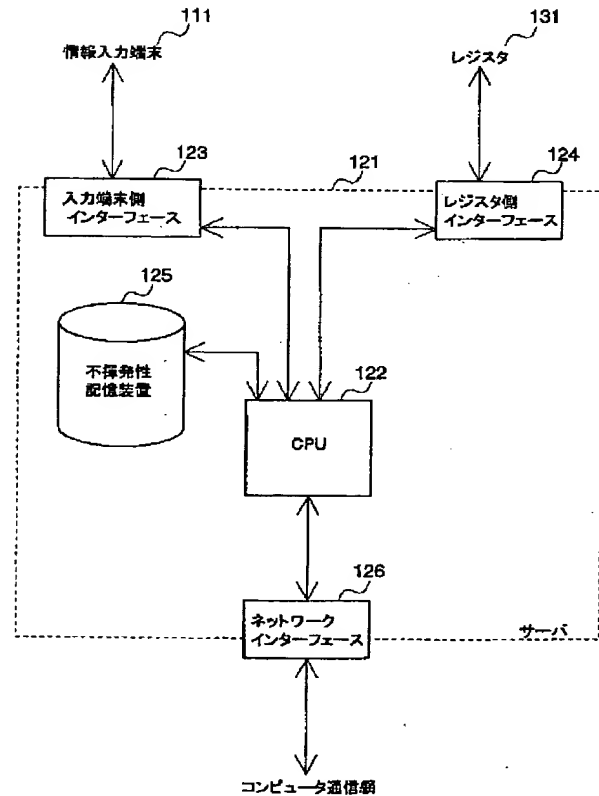
22

- 1104 特定条件
- 1105 掲載情報
- 1106 確認ボタン
- 1401 レシート
- 1402 掲載情報印刷領域
- 1403 会計情報印刷領域

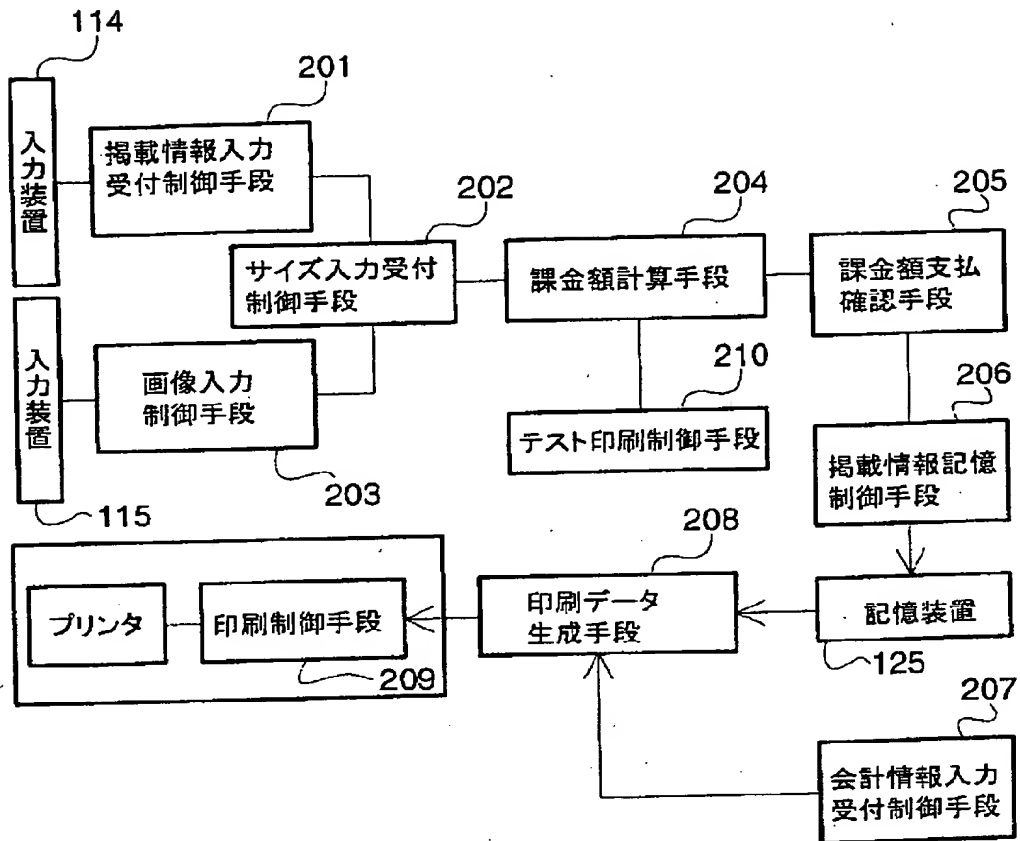
【図2】



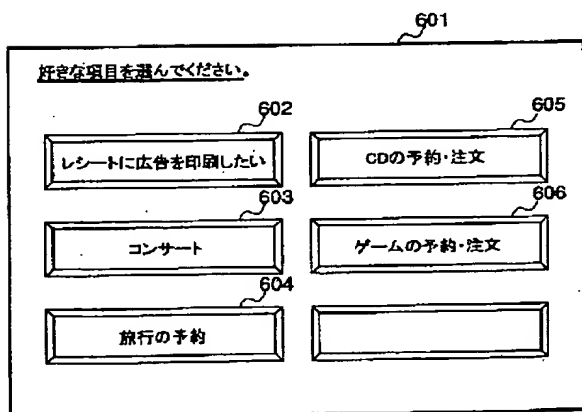
【図3】



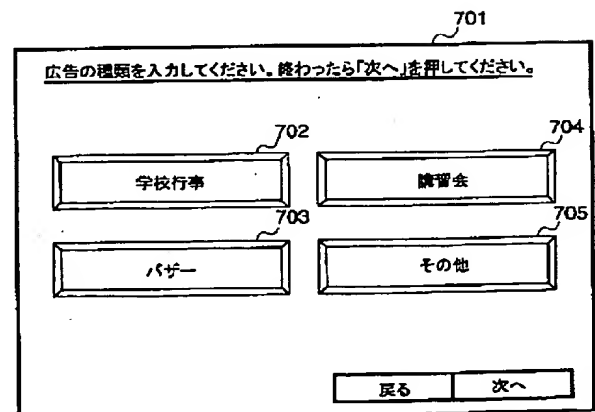
【図5】



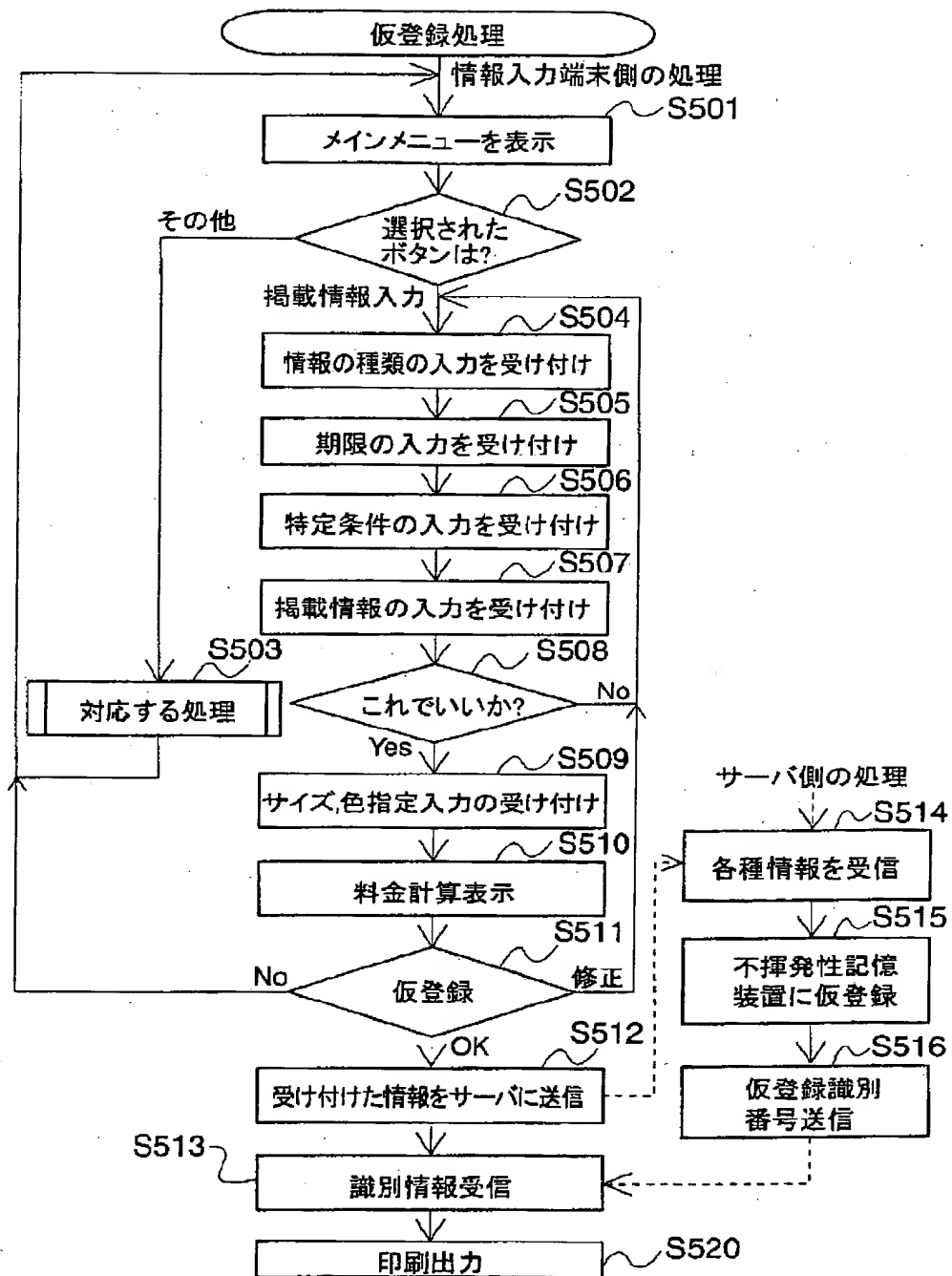
【図7】



【図8】



【図6】



【図9】

有効期限を入力してください。終わったら「次へ」を押してください。

1999 年

1 月

日まで

1	2	3	1字訂正
4	5	6	空白
7	8	9	
0			

戻る 次へ

【図10】

提供対象を入力してください。終わったら「次へ」を押してください。

希望対象の ☐ を押してください。 ☒ になった対象に広告します。

年齢層

性別

職業

戻る 次へ

【図11】

掲載情報を入力してください。終わったら「次へ」を押してください。

3月13日午前10時から千代田小学校体育館にてバザーが開催されます。
皆様ふるって

・	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	英数字	1字訂正
・	を	り	み	ひ	に	ち	し	き	い	カタカナ	空白	
!	ん	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	改行	小さく	
?	れ	め	へ	ね	て	せ	け	え	変換			
・	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	無変換	スクリーンを使用	

フォントサイズ 14 pt

戻る 次へ

【図12】

以下の通りでいいですか? よければ「はい」を押してください。

種類 バザー

有効期限 1999年3月13日

特定条件 10代～40代・50歳～、男・女、職業不問

掲載情報 3月13日午前10時から千代田小学校体育館にてバザーが開催されます。
皆様ふるってご参加ください。

画像 なし

いいえ はい

【図16】

【図13】

印刷サイズの指定

大 中 小

印刷カラーの指定

モノクロ 赤 青 黒

フルカラー

プレビュー画面

仮登録しますか?

OK Cancel

料金 1,200 YEN

戻る 次へ

コンビニエンスストア まるい商店

電話 03-3789-0486

1999年3月1日14時20分

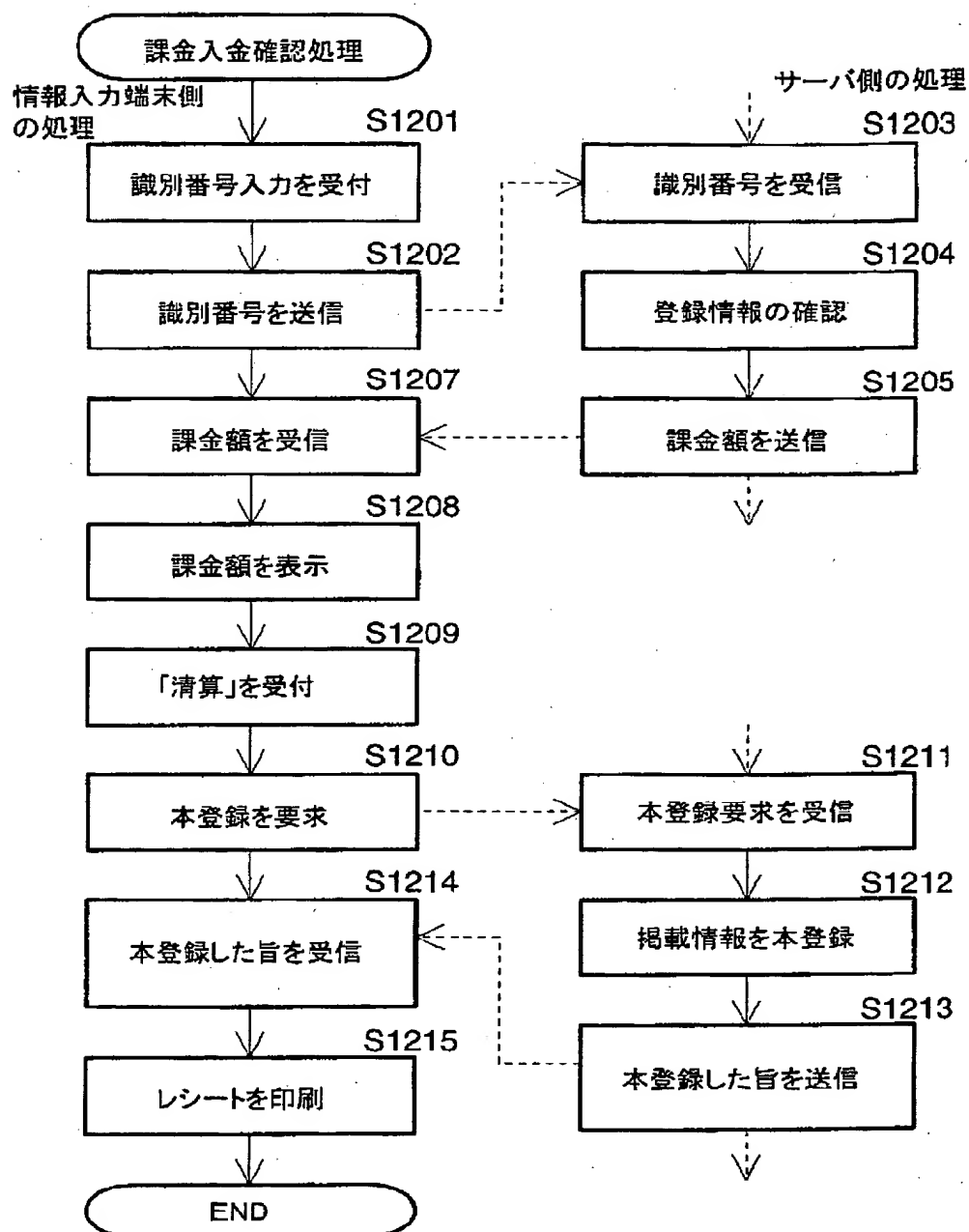
バザーのお知らせ

3月13日午前10時から千代田小学校体育館にてバザーが開催されます。
皆様ふるってご参加ください。

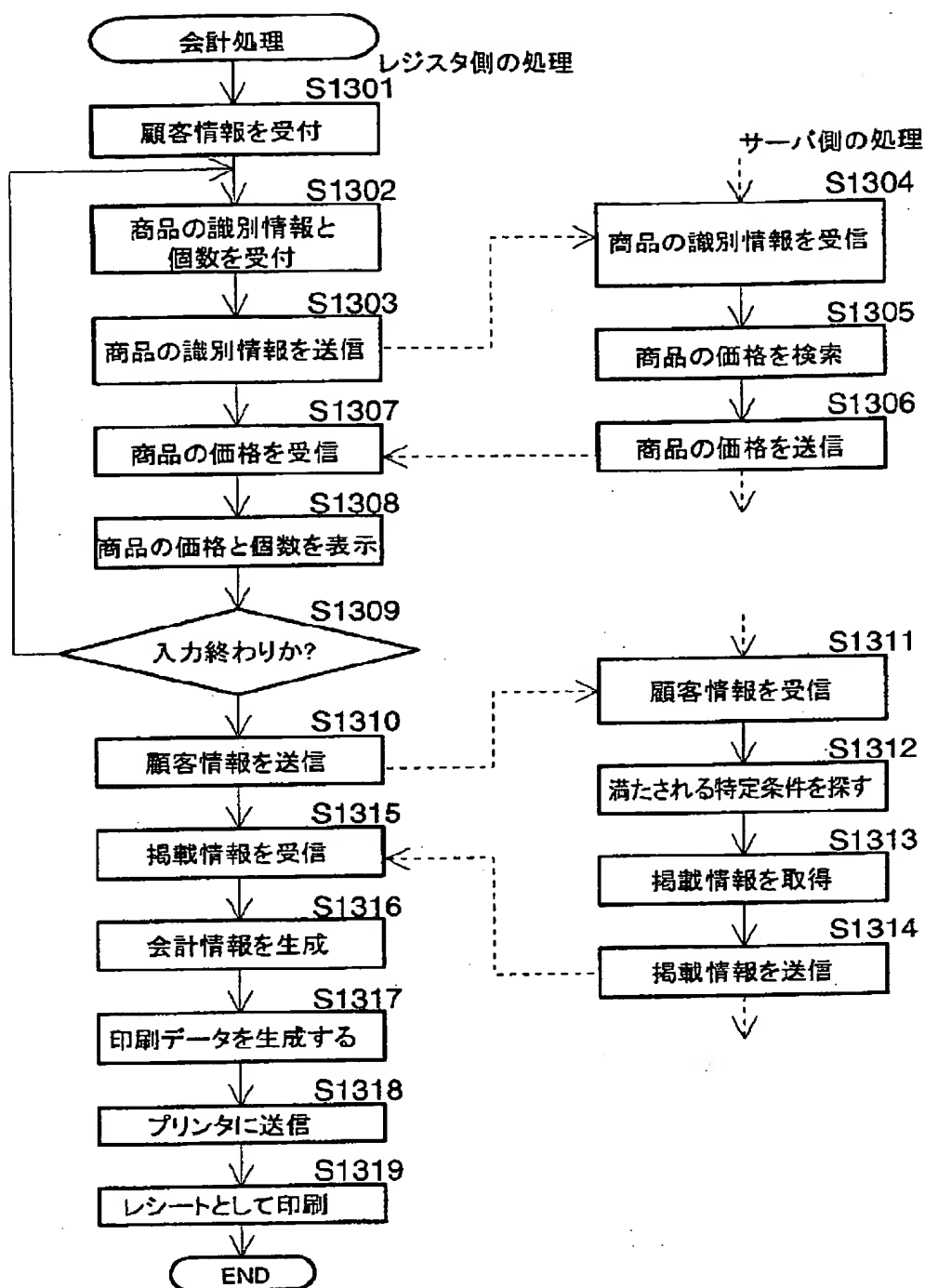
J9001	ｼｮｯｹﾝ	×1	＠150	¥150
J8254	ｼｮｯｸ	×1	＠50	¥50
J2304	ｶﾌﾞﾁﾝ	×2	＠110	¥220
小計				¥420
消費税				¥21
合計				¥441
お預かり				¥1,000
お釣り				¥556

毎度ありがとうございます

【図14】



【図15】



フロントページの続き

(72)発明者 小口 朝弘
 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

(72)発明者 小口 照哲
 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

Fターム(参考) 3E042 BA09 CC10 CD10 CE03 CE04
CE05 EA01
5B049 AA01 AA02 AA06 BB11 BB49
CC36 DD02 DD05 EE05 EE07
FF02 FF03 FF09 GG01 GG04
GG06